

施策評価調査〔途中評価(平成30年度実施)〕

地域別計画

| | | | | | |
|-----|-----------|-------------|--------------|-------|----------|
| | 作 成 年 月 日 | 平成30年10月26日 | 長崎県総合計画記載ページ | 198 | P |
| 地域名 | 対馬地域(対馬市) | 施策主管所属 | | 対馬振興局 | |
| | | | 課(室)長名 | | 局長 松尾 誠司 |

1 地域別計画の内容

| | |
|--|--|
| <p>【取組の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 対馬の海、森、里の資源を活かした産業振興等で活力あふれるしまづくり 2 大陸との交流に培われた歴史文化を活かした魅力あるしまづくり 3 貴重な動植物が生息する「対馬」の豊かな自然と調和を図り、地球環境にやさしいしまづくり 4 大陸に近い立地を活かした物流・人流が盛んなしまづくり 5 島民みんなが安心して暮らせるしまづくり | <p>【地域をめざす姿】</p> <p>大陸との交流拠点として、さらなる、モノ、文化の交流拡大を図るとともに、海、森林(もり)、里の資源を活用し、人をひきつける魅力的なしま</p> |
|--|--|

2 地域別計画の進捗状況と評価

| 施策の進捗状況の評価 |
|--|
| <input type="checkbox"/> A : 順調 <input checked="" type="checkbox"/> B : やや遅れている <input type="checkbox"/> C : 遅れている |
| <p><<これまでの成果>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成29年4月から有人国境離島法が施行され、交付金の活用による、島民向けの運賃低廉化、農水産物の輸送コスト支援、雇用機会の拡充による雇用の創出、滞在型観光の促進が実施され、平成29年度の人口の社会減については近年の記録に無い▲181人と平成28年度の▲401人と比べても人口減少抑制に対する成果が出てきている。 ●また、韓国観光客が平成29年は35万6千人と増加しており、交流人口の拡大対応のため厳原港、比田勝港の整備を実施している他、道路改良工事、河川改修、地すべり対策等順調に進捗している。 ●第1次産業の推進については、平成30年1月にJA和牛繁殖センターが設置され、島内の畜産農家への支援の中核として母牛供給等を担っている。また、対馬固有のそばの品種である「対州そば」は平成30年4月に全国のそば産地に先駆け農林水産省の地理的表示保護制度(GI)に登録された。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●水産物・木材の輸出については、当初の目標を達成できていない状況であるが、木材については中国輸出に向けた薫蒸調査や試験輸出に取り組むとともに、木質バイオマスによる林産資源の活用を検討していく。 ●平成29年10月に朝鮮通信使に関する記憶が世界記憶遺産に登録され、日本遺産「国境の島 吾岐・対馬・五島」とともに、市と連携を図りながら、これらの資源を活用した観光メニューの開発や国内外からのさらなる誘客を実施していく必要がある。 |

3 地域別計画の数値目標の進捗状況

| 指 標 | | 基準年 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | 最終目標(年度) | 進捗状況の分析 |
|--------------|------|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|------------------|--|
| 観光消費額 | 目標値① | / | 155億円 | 162億円 | 169億円 | 177億円 | 174億円 | 174億円 (H32) | 韓国から一番近くて手軽にいける外国として対馬は人気が高く、釜山と対馬を結ぶ航路が増加した影響もあり、平成29年の訪日韓国人数は35万6千人となるなど、順調に伸びている。これにより、島内での宿泊施設の建設や飲食店、免税店等の民間投資も活発に行われている状況であり観光消費額も順調に推移している。 増加する韓国観光客の受け入れ態勢の整備や観光基盤整備を実施していくため、市と振興局とで観光振興PTを立ち上げ、おもてなしの向上や、施設整備を図りさらなる誘客にむけて取り組んでいく。 |
| | 実績値② | 146億円 (H26) | 172億円 | 187億円 | | | | 進捗状況 | |
| | ②/① | / | 110% | 115% | | | | 順調 | |
| 輸出量(水産物・木材等) | 目標値① | / | 7,900トン | 8,300トン | 8,600トン | 8,900トン | 9,200トン | 9,200トン (H32) | 水産物については、直近実績(平成29年)は、基準年実績(65トン)より47%、前年実績(41トン)より13%それぞれ減少している。輸業者の聞き取りによると、取引上トラブル(通関時の検査)による輸出意欲減退や輸出対象魚の漁獲意欲減退がその理由として挙げられ、数値目標の進捗を図ることが現時点では困難。 木材については、韓国への木材輸出が国内各地に拡大し、韓国事業者の対馬木材品質への要求が強まった。そのため対馬で生産される木材(丸太)は他産地に比べ「節が多い」等により敬遠され、オーダーが大幅に減少した。 市と振興局とで第1次産業振興PTを立ち上げ、農林水産品の生産拡大、売り上げ拡大に取り組むほか、水産物、木材の輸出対策についても協議していく。 |
| | 実績値② | 7,077トン (H25) | 2,050トン | 1,003トン | | | | 進捗状況 | |
| | ②/① | / | 26% | 12% | | | | 遅れ | |

| 指標 | | 基準年 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | 最終目標(年度) | 進捗状況の分析 |
|-------------|------|-------------------------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|---|
| 第1次産業新規就業者数 | 目標値① | | 81人/年 81人 (H28) | 81人/年 162人 (H28-H29) | 81人/年 243人 (H28-H30) | 81人/年 324人 (H28-H31) | 81人/年 405人 (H28-H32) | 81人/年 405人 (H28~H32累計) | 平成29年度は農業7名、林業14名、水産業57名の新規就業者があり、おおむね順調に推移しているが、担い手不足は解消しておらず、Uターン者の新規就業者確保に向けて各就業支援制度の周知・活用及び相談会等の対策を強化していく。 また、市と振興局とで人口減少対策PTを立ち上げ、高校生の島内定着、Uターン促進対策を検討している他、第1次産業の担い手確保対策についても協議していく。 |
| | 実績値② | 70人 (農林業:H22-H28平均) (水産業:H28) | 97人 | 78人/年 175人 | | | | 進捗状況 | |
| | ②/① | | 119% | 108% (累計) | | | | 順調 | |

| 指標 | | 基準年 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | 最終目標(年度) | 進捗状況の分析 |
|----------------|------|----------------|-------|----------------|-----|-----|-------|----------------|--|
| 特定検診受診率(市町村国保) | 目標値① | | — | — | — | — | 65.0% | 65.0% (H32) | ・医師会等関係団体の委員が参加する「地域・職域連携推進協議会や作業部会」で健康課題や受診率向上のための取り組みを検討し、農協や漁協、食品衛生関係者638人に出前講話を行った。特定健診を行う対馬市では「健康つしま21計画、第2期計画」に基づき、「健康つしま21推進員」を配置して、ウォーキング大会などの健康イベント、市民公開健康講座等を開催し、特定健診の受診を勧めた。対馬市と保健所の合同検討会を開催し、アンケート調査や啓発先の拡大にも取り組んだ。様々な取り組みにより、受診率は平成28年度若千(3.4%)向上したものの、最終目標とはまだ20%以上の開きがあるため、さらに工夫した取り組みが必要である。 |
| | 実績値② | 33.9% (H25) | 37.3% | 36.6% (暫定値) | | | | 進捗状況 | |
| | ②/① | | — | — | | | | — | |

4 新たな課題や社会情勢の変化等

- 対馬市のみならず、長崎県全体の人口減少が続いており、長崎県全体で人口減少対策に取り組んでいる状況であり、特に若者の流出に歯止めをかけるため、島内の高校生を島内に就職させる若者定着や島外から若い力を呼び込むUターン対策に取り組む必要がある。
- 平成29年4月から有人国境離島法が施行され、雇用機会の拡充による雇用の創出、潜在型観光の促進対策など、新たな事業が行われており、良質な雇用の創出と、島でもう1泊させるような体験型観光の促進に取り組んでいく必要がある。
- また、韓国人観光客が平成29年度は35万6千人と急増しており、韓国人観光客をはじめとする観光基盤整備に取り組む必要がある。
- 地域商社を設立して、関東を中心とした島外に販売を行うことで、島内製品の生産拡大と島内企業の収益力を強化し、島内雇用の確保と島内経済の活性化を図る必要がある。
- 対馬では特定健診の受診者が少ないため、健康意識を高め、生活習慣病の予防を強化し、生涯を通じた健康づくりを進めていく必要がある。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

- 高校生に対する島内就職支援を実施する他、Uターン者対策として、職業紹介機能をもつ「ながさき移住サポートセンター対馬支部」を開設し、対馬市の「しまぐらし応援室」と連携しながら、Uターン希望者を支援
- 雇用拡充事業者を市と連携しながらサポートするとともに、ハローワークと連携しながら企業と求職者のマッチングを支援
- 市と連携しながら潜在型観光メニューの開発や「企画乗船券」の制度導入による受け入れ態勢の整備を実施
- 比田勝港の係留施設の新設に着手するとともに、国際ターミナル、駐車場などの拡張について、県市が連携し検討を進めるほか、厳原港の埠頭再編整備についても早期完成を図っていく。
- 地域商社による首都圏への島内製品の販売拡大や、島内飲食店への流通体制の構築、水産加工事業者への原材料の供給等の実施
- 県と全国健康保険協会長崎県支部が連携して、会社が従業員に対して積極的・戦略的な健康づくりに取り組む「健康経営」宣言事業を活用して、健康づくりの取り組みを推進

6 地域づくりの方向性を推進する主な取組の状況

| 番号 | 地域づくりの方向性 | 主な取組の状況 | 主な取組事業等(本庁所管課) |
|----|-----------------------------------|---|---|
| 1 | 対馬の海、森、里の資源を活かした産業振興等で活力あふれるしまづくり | <ul style="list-style-type: none"> ●そば、アスパラガス等の品質向上と安定生産及び、肉用牛の増頭 ・アスパラガスの生産振興と生産性の向上及び省力技術推進については重点農家を定め生産上の重点支援の実施・継続 ・「対州そば」のGI登録に向けた支援を実施、継続してPRの支援を実施予定、担い手組織への生産振興と生産安定技術の指導の実施 ・事業活用による牛舎整備・増頭の推進の実施、今後は繁殖センターを核に増頭等を行う予定 ●藻場回復、資源管理の推進、種苗放流、増殖場の造成等による資源の維持増大 ・収益性の高い漁業を目指す漁業者の計画づくりと、その計画の具体化に向けた支援の実施 ・藻場保全・再生、クロマゴリ資源管理の推進、重要魚種の種苗放流、増殖場の造成等による資源の維持増大対策の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・アスパラガス：未来を創る園芸産地支援事業(農産園芸課) ・肉用牛：畜産クラスター構築事業(畜産課) ・水産業所得向上支援事業、新水産業経営力強化事業(水産経営課) ・藻場回復等総合推進事業、水産基盤整備事業(漁港漁場課) ・高級魚くえ資源増大支援事業(漁業振興課) ・離島漁業再生支援交付金等(漁政課) |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 2 | 大陸との交流に培われた歴史文化を活かした魅力あるしまづくり | <ul style="list-style-type: none"> ●朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録推進 ・平成29年10月に朝鮮通信使に関する資料がユネスコ記憶遺産(世界の記憶)に登録(登録資料 111県333点 うち対馬4件5点) ・韓国及び国内からの誘客に繋げるため、市の朝鮮通信使によるまちづくり検討・実行委員会で各種施策の立案及び実施 ・隣国同士の平和に貢献した朝鮮通信使の歴史的意義を若い世代に伝え、情報発信の取り組みを実施予定(H30～) | <ul style="list-style-type: none"> ・新・朝鮮通信使事業(国際課) |
| 3 | 貴重な動植物が生息する「対馬」の豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしいしまづくり | <ul style="list-style-type: none"> ●対馬の環境を保全しゴミのない美しいしまづくりの推進 ・不法投棄監視業務(不法投棄発見件数13件(H29年度))及び産業廃棄物関係事業者(54事業者)の立ち入り調査業務等の実施による自然環境の保護・保全 ・海岸漂着ゴミ回収事業等の実施による自然環境の保護・保全 | <ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物対策：産業廃棄物審査指導事業、廃棄物不適正処理対策事業、産業廃棄物処理施設監視指導事業(廃棄物対策課) ・海岸漂着物対策：海岸漂着物等の回収・処理、海岸漂着物等の発生抑制対策事業(廃棄物対策課) |
| 4 | 大陸に近い立地を活かした物流・人流が盛んなしまづくり | <ul style="list-style-type: none"> ●島内産農林水産物の域内流通拡大と販売促進 ・直売所出荷量増加や品質向上に向けた、栽培指導の実施 ・学校給食用野菜の出荷拡大による地産地消の推進及び定量定質出荷に向けた栽培講習会等による普及啓発の実施 ・対馬地域商社の設立による、島内産品の販路拡大と域内流通の方策の検討 ●韓国入観光客など交流人口の拡大対応のため、厳原港(船舶シフト予定 平成32年度)、比田勝港(完成予定 平成32年度)の整備促進 ●急増する韓国入観光客などの島内移動の円滑化と、対馬の基幹産業である水産物の輸送時の鮮度保持のための道路改良工事の推進 ・一般国道382号の大地バイパスの整備(平成29年12月供用開始) | <ul style="list-style-type: none"> ・業務用産地拡大推進事業(農産園芸課) ・国境のしま地域商社プロジェクト(地域づくり推進課) ・厳原港、比田勝港のふ頭再編整備(港湾課) ・一般国道382号の大地バイパス・櫻滝・畠ヶ浦(道路建設課) ・主要地方道厳原豆酸美津島線の吹崎・尾浦～安神(道路建設課) |
| 5 | 島民みんなが安心して暮らせるしまづくり | <ul style="list-style-type: none"> ●対馬市の健康寿命(平成22年)は、県内で、男性ワースト3位、女性ワースト1位のため、健康寿命の延伸を目指した事業の推進と充実 ・関係団体との協議会設置や各団体への出前講座による周知の他、新聞報道等による広報により、特定健診受診を推進 ・対馬市は健康づくりイベントや講演会などを実施し、H27は女性がワースト2位と一部改善が見られる状況 ●水害発生の危険性が高い対馬の急流河川の河川改修事業の整備促進 ●対馬の多くの集落は背後に渓流や急傾斜地を抱え、土砂災害等の危険性が高いため、砂防、地すべり、急傾斜地におけるハード対策の推進とソフト対策として対馬島内全域の人家等がある箇所における、土砂災害防止法に基づく警戒区域・特別警戒区域の指定を推進(第1次指定 平成31年度予定) | <ul style="list-style-type: none"> ・健康ながさき21計画第2期計画、長崎県地域・職域連携推進事業、職場の健康づくり応援事業(国保・健康増進課) ・田川総合流域防災事業(河川課) ・三根炭炭地区急傾斜地崩壊対策事業(砂防課) ・一重川通常砂防事業(砂防課) |